

うめ栽培情報 第1号

稲積梅の里振興会
 特産氷見稲積梅生産組合
 富山県高岡農林振興センター

■ 1 生育概況

開花始めは、2月22日頃（前年-10日、平年-20日）と前年、平年よりかなり早くなり、開花期の低温による結実不良が懸念されます。このため、筆や羽毛などの毛ばたきによる人工授粉を行うなど、結実確保に努めてください。

■ 2 今後の病害虫防除

3月下旬頃から4月上旬頃は、かいよう病の重点防除時期です。下記薬剤で防除を行ってください。最初の伝染源は2年生枝に発病する潜伏越冬枝病斑（写真1）です。病原細菌は伝染源の病斑から雨滴によって飛散します。園地を見回り、感染源の潜伏越冬枝病斑が見られる枝は切除し、園外に持ち出し、適切に処分してください。



写真1 かいよう病の潜伏越冬枝病斑

時 期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍数	10a 当 散布量	100 ㎡当 必要薬剤 (g, cc)
3月15～ 17日頃 (葉芽発芽前まで)	かいよう病	ムッシュボルドーDF※	500倍	200ℓ	200g
4月5～ 7日頃	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	200ℓ	66g

※ムッシュボルドーDF は、開花期間中の散布を避け、葉芽発芽前までに散布してください。

■ 3 カイガラムシ類対策について

カイガラムシ類（写真2）は、枝、幹等を吸汁加害し、多発すると枝を枯死させることがあります。カイガラムシ類多発樹では、枝幹の虫をワイヤーブラシ等（写真3）で削り落とし、密度を減らしてください。この時、花芽を傷つけないように注意してください。また、部分的にカイガラムシ類が多発している場合、多発生部分を切除し、枝は園外に持ち出して処分してください。



写真2 枝に寄生する
カイガラムシ類

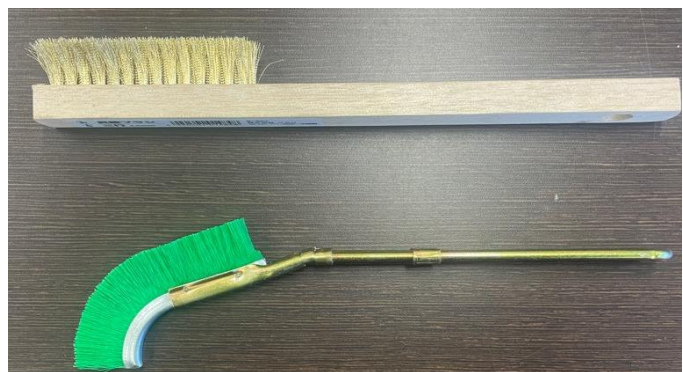


写真3 ブラシ例
 上：ワイヤーブラシ（真鍮製）
 下：ナイロンブラシ（毛が固く、密度が高いもの）